

コムワン だより

H28.12.10
№57

～災害備蓄品のご紹介～

過去に発生した災害を踏まえ、救助工具や担架、飲料用のお水を取り揃えるなど、万が一に備えて対策をとる必要性はこれまでもご案内してまいりました。必要性は感じているが「何を」「どのくらい」備えておく必要があるか判断が難しいというケースもあるかと思えます。今回は災害備蓄品を購入されている管理組合で備蓄されている内容をご紹介します。備蓄をご検討の際は弊社営業担当者へご相談ください。

1. 発災後の状況と物資の調達について

発災後は飲食物やカセットコンロ等の調理器具等を確保する動きがみられ、以下の写真でもおわかりいただけますが、手を加えずに食べられるものなどは店頭からすぐになくなってしまいます。また、物流機能もマヒするため、いつ入荷されるかもわからず、飲食物は事前に確保しておくことをお勧めいたします。



左の写真は震災発生から8日経過後のコンビニエンスストアの様子です。

8日経過しても食料の納入はなかったとのこと。また、コンビニエンスストア以外にホームセンターでは乾電池や充電関連の商品などが無くなるといった事象があったようです。インターネットでもその時の状況はご覧いただけます。

2. 災害備蓄品のご紹介 ※裏面に続きます



①簡易トイレ

簡易トイレを備えておくことで、地震に限らず、台風や積雪による停電などで給水が止まった場合、または排水が不能となった場合でも安心です。



②マンホールトイレ

マンホールトイレは居室でトイレが使用できない場合、簡易トイレと一緒に備蓄しておくことで、居住されている皆様のトイレ問題を軽減することができます。



③救助工具セット

地震発生後、玄関扉の枠が歪んで開閉ができなくなり、閉じ込められた方の救出や強制開錠が必要な場面で、一通りの工具が揃っていると非常に便利です。



④発電機

停電により電気製品はほとんどが使えなくなりますが、発電機を備えておくことで、停電復旧までの間、一定の電源を確保することができます。



⑤投光器

夜間の停電は建物内が暗闇となり、行動が制限される可能性があります。発電機やコードリール等と一緒に備蓄しておくことで、マンションの照明として使うことができます。



⑥コードリール

コードリールは非常時ではなくても様々なシーンで重宝する備品です。また、停電時に投光器を使う場合にコードリールがあれば利用できる範囲が広がります。

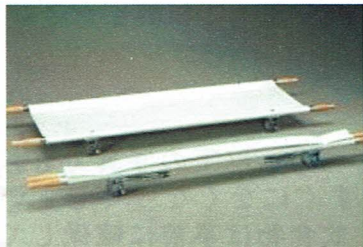


CommunityOne



⑦ 多人数用救急箱

災害発生後、ケガをされた方がすぐに治療を受けられる可能性は低いいため、管理組合で救急箱を備えておく、簡易的ではありますが、ケガの処置は可能となります。



⑨ 担架

担架があると、ケガを負って動けない方を安全な場所により安全な方法で搬送することができます。



⑪ ヘッドライト

夜間や停電時等、暗い中でマンション内の確認や作業を行う場合、ヘッドライトを装着することで、作業場所を両手が使えて、明るい状態で作業を行うことができます。



⑬ ハンドメガホン

災害発生後は混乱している可能性が高く、様々な声や音が飛び交っていることが想定されます。ハンドメガホンがあれば、指示や誘導をする際に便利です。



⑮ カラーコーン

外壁の剥落など、危険と思われる箇所にカラーコーンを置き、バーや標識ロープと組み合わせることで、居住者に立入禁止や危険を知らせることができます。



⑰ 保存水

停電等で給水が止まると、必要な分の水を抱えて階段の昇り降りが必要となる場合があります。日頃から備蓄しておくことで、給水が停止した場合の対応が軽減されます。



⑧ エレベータ用備蓄品

エレベータ利用中に災害が発生すると、カゴ内に閉じ込められる可能性があります。カゴ内に最低限の物資を備え置くことで、救出まで閉じ込められた方が安全に待機することができます。



⑩ ヘルメット

地震発生後も余震が続き、マンション内を確認しているときなどは頭上から物が落下してくる可能性が高くなります。対策本部の人員数分または理事会役員数分の配備をお勧めします。



⑫ ラジオ

発災時などの状況下では電話やネットによる情報収集は回線が混み合い、情報の収集が思うようにいかないことが想定されます。情報収集ツールとして備蓄しておく便利です。



⑭ 標識ロープ

標識ロープを備えておくことで、カラーコーンと組み合わせた使用に加え、強制開錠した扉の固定、侵入口の封鎖など、幅広く利用することができます。



⑯ アクモキャンドル

停電時はろうそくを使用すると火災などの二次災害につながる可能性があります。アクモキャンドルは水で点灯させることができ、便利で安全に使用することができます。



⑱ 保存食

表面で記載しておりますとおり、食べ物等はすぐにお店の店頭からなくなり、食べ物の確保が難しくなります。保存水と併せて備蓄しておくことで、非常時も問題なく食事を摂る事が出来ます。

